

デザイン (1)

CBR600RR

●スタイリング

常にスーパースポーツの新たなトレンドを提案する CBR600RR。
今回のデザインテーマは、

レーシングマシンに秘められた「Stoic & Dynamic Form」

とし、MotoGP で活躍する「RC213V」の強烈な DNA を感じさせるスタイリングとしています。

躍動感のあるフォルムの中に、勝つための機能美を併せ持つ外観は、公道走行車としての要件を十分に満たしながら、レーシングマシンにも成り得るポテンシャルを感じさせる、アグレッシブなものに一新いたしました。

具体的には、「マス集中フォルム」を基本として、レース現場からフィードバックされた徹底した軽量化技術とエアマネジメント技術を注ぎ込んでいます。エアプロテクションと軽快なハンドリングを両立させたフロントアッパーカウルや、導風・排風の高効率化を図り熱気がライダーへ向かって巻き込まないように配慮されたミドルカウル・アンダーカウルなどにその効果を感じていただけたと思います。

フロントセクションからリアセクションにいたる、一体感のある流れを強調した造形は、視覚的にも機能的にも優れた空力特性を実現しています。

また、センターアップマフラーを継続して採用し、RC213V のディテールを反映することで、Honda のスーパースポーツを象徴するプロポーションとしています。

